



公開認知症サポーター養成講座「おい支度講座」 「おい支度」で「人生のゴール」を考える

3月9日(日)に、春日文化ホールで、公開認知症サポーター養成講座「おい支度講座」が行われました。講師に、長寿社会開発センターの石黒秀喜さんを招き、認知症を予防し、幸せなかたちで人生を終える準備をする「おい支度」について学びました。石黒先生は、「認知症はだれもがなりうる病気。自分の人生を振り返る『自己点検ノート』をつけてください」と話し、「人生のゴール」のあり方について考えるきっかけとなりました。



講座には185人が参加。健康に老いるための秘けつを学びました

「いつも見守ってくれてありがとう」

3月5日(水)に、青垣地域の芦田小学校で、通学路の安全を見守ってくれた交通指導員のみなさんにお礼をしようと「交通指導員お礼の会」が行われました。交通指導員を務めるのは、地域の人や地域の警察官。代表の児童が、交通指導員のみなさんに、毎日通学路に立ち、自分たちを見守ってくれていることに感謝を述べました。



交通指導員のみなさんに、児童から花束が贈られました

平成25年度丹波市合同防災訓練 消防車やヘリコプターが大集結!

3月1日(土)に、市役所山南支所周辺で、「平成25年度丹波市合同訓練」が行われました。最大震度6強の大地震を想定し、丹波市と近隣地域の防災関係機関が合同で行ったこの訓練では、災害派遣医療チームDMATや自衛隊が災害時の連携を確認したほか、ヘリコプターによる救出訓練が実施されました。訪れた人々は、普段見ることのできない救出訓練を見学したり、アルファ化米の試食をしたりして、楽しみながら訓練に参加しました。



①ヘリコプターによる救出訓練②炊き出しなど市民参加型の訓練も行われました③はしご車の高さを体験

若者が「住み、働く」丹波市に

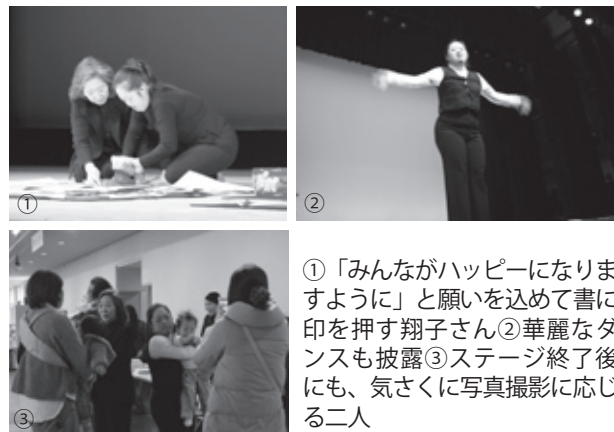
3月11日(火)に、神戸市で、市内企業11社の採用担当者と関西圏21大学の就職担当者が集い、就職情報懇談会が開催されました。この懇談会は、若者の市内定住を促進するために、市と兵庫労働局が連携して実現しました。参加者は、学生の就職活動の方法や企業が求める人物像などについて活発に意見を交わしました。



求人や就職について活発に意見が交わされました



ライブパフォーマンスを披露する翔子さんと泰子さん。書に向かうまなざしは真剣そのもの



春のお花見に役立つ一冊 「まごころ丹波花めぐり」が完成

丹波市と市観光協会が発行する冊子「まごころ丹波花めぐり」が完成しました。桜や藤、れんげなど、市内各所の花の名所を網羅。ほかにも、レストランや土産物の情報も掲載されており、春の市内観光に役立つ一冊です。



「まごころ丹波花めぐり」は市役所などに設置されています

第6回たんば・ときめきカルチャー 「みんながハッピーになりますように」

2月22日(土)に、ライブピアいちじまで、たんば・ときめきカルチャー「無心の書」が行われました。6回目となる今回のゲストは、大河ドラマ「平清盛」の題字を手掛けたことでも知られる若手書家の金澤翔子さんと母親の泰子さん。ステージ上に現れた翔子さんは、厳かな雰囲気の中、書道のライブパフォーマンスを披露。力強い字で「感謝」と揮毫すると、会場は大きな拍手に包まれました。



丹波市エグゼクティブアドバイザー・村上信夫さんの司会で、楽しいトークが繰り広げられました

「すきな丹波市」を「すてきな丹波市」に!

2月21日(金)に、特定非営利活動法人グリーンバレーの理事長を務める大南信也さんを講師に招き、「地域づくり講演会」が行われました。過疎に直面する徳島県神山町で、大南さんが取り組んだ「人」を生かしたまちづくりは、多くの転入者をもたらしました。「できない理由より、できる方法を」と話す大南さんに学ぼうと、参加者たちは、熱心に耳を傾けていました。



「すきな丹波市」に「て」を加えて「すてきな丹波市」にしようと語る大南さん